

# 北海道 高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル7F  
 TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006  
 URL : <http://www.hokkaido-koupren.com/>

## 今号の内容

- ▶シリーズ北の志
  - ・石狩南高校
  - ・熊石高校
  - ・洞爺高校
  - ・斜里高校
- ▶全国高P連大会岩手大会
- ▶総会報告
- ▶道高P連大会北見大会
- ▶支部だより



## Heart to Heart 北の志 —ひたむきに頑張る君たちを応援したい—

今号より「北の志」は、**北海道全ての高校掲載を志してリニューアル。**  
**皆さんお楽しみに。次は君達の高校だ!**







知床五湖散策

本校は、生徒のほぼ九割が地元斜里町から入学する「地域の学校」で、地域との強い結びつきの中、PTAや同窓会、地域の皆様からの様々な支援をいただきながら、地域に根ざした教

里実科高等女学校として開校した才ホーツク東部地域の伝統校です。創立以来、幾多の変遷を経た後、平成十六年には、普通科・商業科から総合学科に学科転換し、特色ある学校つくりをさらに進めています。

世界自然遺産の町の高校

校長 狩野 康弘

中でも、「知床・産業系列」は、本年度から関係の授業を開始した新しい系列で、福祉や観光等の学習を通して、地域に貢献できる力やホスピタリティ（おもてなしの心）等を育み、地域の将来を担う人材の育成を目指しています。

また、キャリア教育にも力を入れており、一年次の学校設定科目「産業社会と人間」では、自己理解や人生設計などを通して、生徒に自身の可能性の気づきを促し、将来についてじっくりと考えさせています。

育活動を展開しています。特に、総合学科の趣旨を生かした「生徒の主体性を重んじ、個性を伸ばす教育」として、「人文」「自然」「科学」「情報ビジネス」「知床・産業」の四つの「系列」（選択しやすいように関連性をもつた科目をまとめたグループ）を設置し、生徒が、大学・短大・専門学校等への進学から公務員・民間就職に至る多様な進路に對応した学習を進められるようになっています。

昨年は知床の国立公園指定から五十周年、今年は世界自然遺産登録から十周年と、アニバーサリーヤードが続いています。本校では、引き続き、PTAの皆様や地域と密接に連携し、知床の豊かな自然をはじめ、地域の教育資源・教育力を活用した特色ある教育活動を推進し、教育の質の確保・向上を図つてまいります。



水棲生物調查



## 洞高カフェ（マドレーヌ）

①「ECOプロジェクト活動」→「地産地消」「環境保全」をテーマに取り組む活動です。これは、地元生産物（果物・野菜等）を材料とした菓子製品の開発・新聞エコバッグの普及・布製箸袋等の環境保全関連グッズの研究・製作・販売などの活動です。その中でも、とうや水の駅で年四回開催する「洞高カフェ」では、菓子づくりを通して作

**特色ある活動**  
中、『ECOプロジェクト』・『地域教育力活動』・『地域貢献活動』・『地域活動』について紹介します。

64年間ありがとう！

校長 佐々木 淑子



総合学習（木材加工）

②「地域教育力を活用した  
体験活動」～「洞爺ネイ  
チャード」「農業」「木材加  
工」の分野に分かれて体験  
する活動です。「洞爺ネイ  
チャード」では、地元ツアーア  
ガイドの方の案内で、昭和  
新山登山（許可制）、ジオ  
パーク学習・カヌー実技な  
ど自然について深く学びま  
す。「農業」では本校OG



洞高カフト（全員）

以上、「生活ビジネス科」として地域の特色を十分に活かしながら、家庭や地域の信頼と期待に応える「愛され続ける学校づくり」に取り組んできました。本校六十四年目、最後の卒業生二十三名は笑顔です！

③「地域貢献活動」～ボランティアと異年齢交流の活動です。洞爺湖マラソン給水ボランティアや小・中・高合同で行う地域清掃活動・高齢者との交流活動や本校生徒が先生となり小学生へ教える家庭科授業（裁縫と調理）などがあります。

の指導のもと、雑草抜きから摘芯、収穫まで、食を支える農業を知る機会としています。「木材加工」では、地元カヌー工房の親方の手ほどきで、木材加工の作業を通して木の温かみを感じながら、本立てやコート一ラック等を完成させます。昨年度までは以上の三つに加え、地元伝統芸能の「香川獅子舞」も設定し、伝承活動として取組みました。

# 第65回全国高等学校PTA連合会大会 岩手大会参加報告

北海道北見緑陵高等学校PTA会長  
大野浩二

第65回全国高等学校P.T.A.連合会大会は、8月20日（木）～21日（金）の両日、岩手県岩手産業文化センター（アピオ）を主会場に全7会場で講演会・分科会が行われました。大会テーマを宮沢賢治の詩『生徒諸君に寄せる』の文言を以て

科学大臣、岩手県副知事、盛岡副市長らが列席しそれぞれの方からご祝辞をいただいた後、PTA活動にご尽力された団体及び個人の方々に文部科学大臣表彰や全国大会会長表彰が授与されました。

分科会

は害せる』の文言を引用し、「未来圏からの風をつかめ！新時代を担う君たちと共に」を掲げ全国から約一万人が参集し盛大に開催

分科会

アトラクションとして県内の高校生による吹奏樂演奏や郷土芸能演舞、筝曲、剣舞などが披露され大会を盛り上げました。開会式及び基調講演は、メイン会場の岩手産業文化センター（アピオ）で開催された模様をサブ会場の大型スクリーンにライブ放映されました。

開会式

開会式で全国高P連の佐野元彦会長より、「さまざまなお思いや情報を触れ、各自の実践に生かす機会としてほしい」と式辞を述べました。次に渡辺正和岩手大会実行委員長より歓迎の挨拶がありました。

たときの経験や専門の超電導工学で土佐ノ海閥を浮遊させたエピソードを交えながら、教育の役割について「教育で人も国も変わる。若者に夢と希望と志を。」とご講話いただきました。

河ドラマ「龍馬伝」、映画「るろうに剣心」などで苦労話を交えながら、「アクションをすら楽しみ、それを作品としての力に変えていこう」とアドリブ力をどう蓄えて

基調講演は、芝浦工業大学学長・村上 雅人氏（盛岡市出身）が演題「夢高くして足地にあり The sky is the limit」としてお話しした。ご自身が交

●記念講演  
記念講演では、開催地・  
広島市立柏葉高等学校PTA会  
長・山本マサヒコさんには  
心から敬意を表します。

第65回全国高等学校吹奏楽コンクール  
岩手大会



もとむ

くのか」について時にユ  
ークに時に熱く講話され  
した。

第10章

アリーナ会場

北海道





第4号議案  
北海道高等学校PTA連合会  
平成26年度収支決算報告書  
・蜂谷監事が「会則第1項第4号の規定に基づき監査したが適定10告を説明。各特別会計決算報告を認め。」と報告。  
※第2、3号議案は質問。意見等はなく、承認。

第5号議案  
北海道高等学校PTA連  
合会会則の一部改正案  
・事務局が提案する。①第5章の条・項を第4章に繰り入れる。②会員資格の表現を改め、中等教育学校を含むと  
いう文言を追加する。③会費の規定を会則施行の關係を明確にするため、第6条を改正し第5条とす  
る。④単Pと連合会・支部との関係を明確にするため、第6条を改正し第5条とす  
る。⑤第25条の「見出し」を改  
正する。「見出し」を改  
正する。

第3号議案  
平成26年度会計監査報告書  
・蜂谷監事が「会則第1項第4号の規定に基づき監査したが適定10告を説明。各特別会計決算報告を認め。」と報告。  
※第2、3号議案は質問。意見等はなく、承認。

第2号議案  
平成26年度事業報告書  
・事務局が会務報告と事業概要を説明。質問。意見等はなく、承認。

日時 平成27年6月13日  
場所 北見市民会館

## 審議事項

第1号議案  
平成26年度事業報告書  
・事務局が会務報告と事業概要を説明。質問。意見等はなく、承認。

# 北海道高等学校PTA連合会 平成27年度総会報告

⑥業務に表彰を位置づけ  
るため第3条を改正す  
る。以上、計6項目を提案す  
る。提案後、代議員より、  
「中等教育学校を含む  
という文言だけではな  
く、道立では後期課程  
私立では高等部・中等  
部という表現を敢えて  
加えなくて大丈夫ですか」との質問があり、事務局が、「登別明日  
中等教育学校が加入して  
いたこれまで特に質問  
支障が有りませんでし  
たので、今後もあまり  
考えられないのではないか  
と思います」と回答。  
※その後、議長が、「審  
議事項ではないが関連す  
る事項なので」と前置す  
きし、「会則施行細則等の  
改正の報告を促し、事務局  
が報告事項として「理事  
会則施行細則等の一部改  
正等」を説明。質問。意見等はなかつた。

(石狩・札幌月寒・再)  
(石狩・札幌あすかぜ・新)  
(石狩・札幌新川・新)  
(石狩・札幌月寒・再)  
(石狩・札幌あすかぜ・新)  
(石狩・札幌新川・新)  
(胆振・苦小牧西・新)  
(胆振・苦小牧西・新)

(石狩・大麻・新)  
(石狩・札幌東豊・新)  
(洞野博文)  
(下山春美)

第6号議案  
平成27年度事業計画案  
・事務局が、研修事業、  
調査・啓発活動事業、  
健全育成事業、高校教  
育振興対策事業、表彰  
事業、広報活動事業、  
健康安全対策事業案と  
加入状況等組織の概要  
について説明し、質問。  
意見等はなく、承認。

第8号議案  
平成28年度道高P連総会  
開催支部 遺愛女子道南支部  
日時 平成28年6月11日～12日

第7号議案  
平成27年度收支予算案  
・事務局が一般会計予算  
案を説明し、質問。意見  
等はなく、承認。

第10号議案  
その他なし。  
※提案された「審議事項」  
はすべて承認。  
※報告事項等は省略。

第9号議案  
平成29年度道高P連総会  
開催支部 遺愛女子道南支部  
日時 平成29年6月11日～12日

★常任理事 ※【敬称略】

会長 山本 富造  
副会長 新井田 寛  
(石狩・石狩南・再)  
(石狩・札幌月寒・再)  
種田 千草  
(石狩・札幌あすかぜ・新)  
原貴彦  
(石狩・札幌新川・新)  
福井玲子  
(石狩・札幌月寒・再)  
(石狩・札幌あすかぜ・新)  
(石狩・札幌新川・新)  
(胆振・苦小牧西・新)  
(胆振・苦小牧西・新)

委員会人数	
総務委員会	11名
研修委員会	11名
健全育成委員会	10名

広報小委員会	
委員長	新井田 寛 (副会長)
委員	種田 千草 ( )
	" 下山 春美 (監事)

・事務局	
宮川 恒美 (局長)	
伊藤 陽司 (次長)	
小田島美香 (局員)	

## 会長コラム



北海道高等学校PTA連合会

会長 山本富造

(北海道石狩高等学校PTA会長)

「北海道高等学校PTA連合会」は、また新たな年度を迎えましたが、今年度は道高P連の手で設立した、「北海道高等学校安全互助会」の共済事業がスタートした年でもあります。お陰様で生徒と保護者、そして教職員を含めますと、約18万5千人を対象に事業をスタートさせることができました。北海道の高校生の安全と健康を保持するとともに、PTA活動に参加する単位PTA会員の災害等に際し、お互いに支え合うという「相互扶助」の大きな輪を更に拡大するためにも、次年度に向けてご検討中の会員の皆様には「安全互助会」について是非とも理解いただきたく、お願い申し上げます。

A会員の減少を招き、PTAの組織運営にも影響を及ぼしかねない状況となつております。また、子どもたちを取り巻く環境は依然として厳しく、スマホを巡る問題も深刻さを増しています。その中にあって、保護者と学校教育関係者の団体である私たち「道高P連」が今日まで担ってきた役割には、子どもたちの成長や学校支援に欠かすことができないものがあります。今後は、これまで以上に会員の幅広いご意見に耳を傾けるとともに、子どもたちの応援団として活力ある組織運営を進めていと考えています。

北海道高等学校PTA連合会は、引き続き、全国高P連、北海道教育委員会、北海道高等学校長協会をはじめ、関係諸団体との良好な連携を保ちながら、「すべては子どもたちのために」を合い言葉に全力で取り組みますので、本連合会へのご理解と更なるご協力をお願い申し上げます。

全道大会北見大会 会長挨拶より抜粋

# 第65回大会（北見大会）

北海道北見北斗高等学校 教頭

木村 成一



### 【開会式】

開会式では主催者を代表して山本会長が「子どもたちを取り巻く環境は依然と厳しくスマホを巡る問題は深刻化を増している。その中で保護者と学校関係者による団体である高P連が今まで担ってきた役割には

子どもたちと共に悩み、考え、子どもたちに寄り添いながら解決を図ることが求められている。そのためには、自らの対処療法に追われることなく、社会そのものの健全化を目指して保護者自身が家庭・学校・地域を結びつける役割を積極的に果すべきだ」と訴えた。

### 【講演会】

講演は、オホーツク管内網走南ヶ丘高等学校の卒業生であり、南極料理人であります。今後とも、各

P連大会北見大会が『身近な人と結ぶ信頼の絆』を大会主題に、「響けオホーツクの青空へ 未来を担う子どもたちへの応援歌」の市民会館を主会場として2日間にわたる大会が開催された。

おなじみの元海上保安官西村淳氏を講師に迎え「ご飯にしよう!」というタイトルで講演が行われた。

講演の導入は、札幌のスーパー・マーケット等での路上観察や東京の地下鉄での人間觀察などをスライドを使いながら面白可笑しく説明することから始まった。次に、映画にもなった「ラーメンもうないの事件」で重曹をかんすい代わりに使つてラーメンの麺を作つたことやドーム基地で栽培した生野菜を水圧を利用して真空パックにするなど工夫次第で料理はできるなど南極基地で料理をした時のエピソードが紹介された。そして、南極観測任務

やドーム基地での生活と人間関係を通じて人へ食事を提供することの重要さや人



### 【分科会】

大会二日目は北海道北見北斗高等学校と北海道北見柏陽高等学校を会場に分科会が行われた。分科会のテーマとして「進路支援としてのPTA活動のあり方について」「子どもたちの高校3年間をどのように支えていくか」「PTA活動の参加率を上げるための取組」「親の気持ち」という気持ちを交換が行われた。それぞれ



参加者の自己紹介の後、各PTA活動など36の分科会に分かれて情報や意見の交換が行われた。それぞれ「学校行事を支援するか」「学校行事を支援するか」「学校行事を支援するか」と通じ合っています。

PTA活動など36の分科会に分かれて情報や意見の交換が行われた。それぞれ「学校行事を支援するか」「学校行事を支援するか」「学校行事を支援するか」と通じ合っています。

PTA活動など36の分科会に分かれて情報や意見の交換が行われた。それぞれ「学校行事を支援するか」「学校行事を支援するか」「学校行事を支援するか」と通じ合っています。

